

個別指導の教材紹介（ボール運動の基礎トレーニング）

教材名		トレーニングボール（直径6～7cmのはずむゴムボール）
教材の概要		トレーニングボールというはずむゴムボール教材である。 動いているボールを注視し、体の正面で、手で確実に捕ることができることを目指し、ボール運動の指導の一部としての教材について紹介する。
指導事例	対象児童の実態	3年生の男子。コミュニケーションが苦手で、話が一方的になることが多い。自閉的な傾向があり、自分の考えを他者に押し付けてしまうことがある。体の使い方、動きがぎこちない。特に、ボールを捕ったり、投げたりすることが困難である。また、手先を使った作業にも課題が多い。
	指導のねらい （自立活動の領域）	ボールやプリント内の文字を注視する力が向上するとともに、手指の力の調節ができるようになる。 （作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること。5－（5））
	指導経過	鉛筆の持ち方や姿勢を確認してから取り組む。マスコピーや点結びなどのビジョントレーニングも並行して行う。 ①床にはずませたボールを両手で捕る ②床にはずませたボールを片手で捕る（手のひら上向き） ③床にはずませたボールを片手で捕る（手のひら下向き） 在籍学級での体育や休み時間でのボール運動（遊び）になかなか参加することができずにいたが、ボールを注視することができるようになり、ボールに当たらないようにすればいいと思えるようになり、ボール運動（遊び）に参加できるようになった。手指の動きが徐々になめらかになり、書字に対する抵抗感が軽減した。 今後は、自分のほうに向かって飛んでくるボールを体の正面で捕ることができるように、2人でのキャッチボールに取り組む。遠近でのビジョントレーニングをする。より細かな迷路に取り組み手指の動きを滑らかにする。
教材に対する評価 使用してみたの感想 おすすめポイントなど		小さな教材であるので持ち運びに便利であること。また、はずむ固い床があれば室内の省スペースでできるので、手軽に行うことができる。力を入れて弾ませると天井近くまで弾むことがあるので、室内の場合照明設備に注意が必要である。